

4 定期点検整備基準値

定期点検整備基準値	4 - 2
エンジン関係	4 - 2
シャシー関係	4 - 4
定期点検作業要領	4 - 6
減速時排気ガス減少装置の機能	4 - 6
排気ガス再循環装置の機能 (2L-TE)	4 - 6

定期点検整備基準値

エンジン関係

(1/2)

項 目		エンジン型式		4S-FE	1G-FE	2L-TE
Vベルトまたは Vリブドベルト たわみ量 および張力 (押力98N(10kgf))	オルタネーター ベルト	たわみ量 [mm]		—	14~18	10~15 (1本当り)
		張力 [N {kgf}]		—	250~390 {25~40}	200~340 {20~35}
	A/Cベルトまたは オルタネーター& A/Cベルト (4S-FE)	たわみ量 [mm]		9~11	←	17~21
		張力 [N {kgf}]		440~540 {45~55}	290~390 {30~40}	200~340 {20~35}
	P/Sベルト	たわみ量 [mm]		9~14	7~9	10~15
		張力 [N {kgf}]		200~340 {20~35}	←	←
バッテリー液比重 (液温 20°C)		基準値		1.25~1.27	←	1.27~1.29
		液槽差		0.04 未満	←	←
点 火 時 期 [°BTDC] / [r/min]	T 端子 短 絡	M/T		8~12/650 ± 50	8~12/700 ± 50	—
		A/T		8~12/700 ± 50		
	T 端子 開 放	M/T		10~20/650 ± 50	9 以上 / 700 ± 50	—
		A/T		10~20/700 ± 50		
噴射時期 (TDC 静止) プランジャーリフト量 [mm]				—	—	刻線合わせ
噴 射 圧 力 [MPa {kgf/cm ² }]				—	—	14.22~15.20 {145~155}
アイドル回転数 (Nレンジ, 無調整式) [r/min]	M/T		600~700	650~750	←	—
	A/T		650~750			
アイドルCO濃度 [%]			1.0 以下	←	←	—
アイドルHC濃度 [ppm]			800 以下	←	←	—
ディーゼルスモーク濃度 [%]			—	—	—	40 以下
バルブクリアランス (冷間時) [mm]	IN		0.19~0.29	0.15~0.25	0.20~0.30	
	EX		0.28~0.38	0.25~0.35	0.40~0.50	
シリンダーヘッド締め付けトルク [N・m {kgf・cm}]			※1	63.7 {650}	※1	
インテークマニホールド締め付けトルク [N・m {kgf・cm}]			19.1 {195}	17.7 {180}	23.5 {240}	
エキゾーストマニホールド締め付けトルク [N・m {kgf・cm}]			49 {500}	25.5 {260}	52 {530}	
圧 縮 圧 力 (250r/min 時) [MPa {kgf/cm ² }]	基準値		1.23 {12.5}	1.27 {13.0}	3.04 {31.0}	
	限 度		0.98 {10.0}	←	1.96 {20.0}	
	気筒差		0.10 {1.0} 以下	←	0.49 {5.0} 以下	
スパークプラグギャップ [mm]	基準値		1.0~1.1	←	←	
	限 度		—	←	←	
ラジエーターキャップ開弁圧 [kPa {kgf/cm ² }]	基準値		74~103 {0.75~1.05}	←	←	
	限 度		56 {0.6}	←	←	

※1. 塑性域締め付けのため点検不要

(2/2)

項目		エンジン型式		1JZ-GE	2JZ-GE	1JZ-GTE
				インジェクターにて点検 (無調整式)		
Vリブドベルト 張力点検	オルタネーター・ A/C・P/Sベルト					
バッテリー液比重 (液温 20℃)		基準値	1.25~1.27	←	←	
		液槽差	0.04 未満	←	←	
点火時期 [°BTDC] / [r/min]		T端子短絡	8~12/700±50	←	←	
		T端子開放	5以上/700±50	←	8以上/700±50	
アイドル回転数 (Nレンジ, 無調整式) [r/min]		M/T	—	—	650~750	
		A/T	650~750	←		
アイドルCO濃度		[%]	1.0以下	←	←	
アイドルHC濃度		[ppm]	800以下	←	←	
バルブクリアランス (冷間時) [mm]		IN	0.15~0.25	←	←	
		EX	0.25~0.35	←	←	
シリンダーヘッド締め付けトルク		[N・m {kgf・cm}]	塑性域締め付けのため点検不要			
インテークマニホールド締め付けトルク		[N・m {kgf・cm}]	メタルガスケット使用のため点検不要			
エキゾーストマニホールド締め付けトルク		[N・m {kgf・cm}]				
圧縮圧力 (250r/min時) [MPa {kgf/cm ² }]		基準値	1.27 {13.0}	←	1.23 {12.5}	
		限度	1.08 {11.0}	←	0.88 {9.0}	
		気筒差	0.1 {1.0} 以下	←	←	
スパークプラグギャップ [mm]		基準値	1.0~1.1 ※1	←	0.7~0.8 ※1	
		限度	1.3	←	1.0	
ラジエーターキャップ開弁圧 [kPa {kgf/cm ² }]		基準値	74~103 {0.75~1.05}	←	←	
		限度	59 {0.6}	←	←	

※1. 白金プラグ使用のため調整不要

4

シャシー関係

(1/2)

4

項 目		車両型式	E-SX90 E-GX90 KD-LX90	E-JZX90 E-JZX91	E-JZX93
ステアリングホイールの遊び (ステアリングホイール外周にて) [mm] (油圧作動時)			0~30	←	←
フロントホイール アライメント	サイドスリップ (1mにつき) [mm]		0~5	←	←
	トーイン点検基準値 [mm]		1 ± 2	←	0 ± 2
	キャンバー点検基準値 [度]		0°05' ± 45'	-0°05' ± 45' -0°15' ± 45' (ツアラ-S, ツアラ-V)	-0°15' ± 45'
	キャスター点検基準値 [度]		5°45' ± 45'	5°45' ± 45' 6°00' ± 45' (ツアラ-S, ツアラ-V)	4°10' ± 45'
	キングピンアングル 点検基準値 (参考値) [度]		8°45' ± 45'	9°00' ± 45' 9°10' ± 45' (ツアラ-S, ツアラ-V)	8°45' ± 45'
リヤホイール アライメント	トーイン点検基準値 [mm]		2 ± 2	←	←
	キャンバー点検基準値 [度]		-0°25' ± 45'	-0°25' ± 45' -0°40' ± 45' (ツアラ-S, ツアラ-V)	-0°10' ± 45'
フロントホイール 左右回転角度 [度]	内 側		40°45' ⁺¹⁰ / ₋₂₀	←	39°35' ⁺¹⁰ / ₋₂₀
	外 側 (参考値)		34°25'	34°10' 34°00' (ツアラ-S, ツアラ-V)	32°35'
ブレーキペダル [mm]	遊 び (負圧なしの状態)		1~6	←	←
	踏 み 残 り し ろ [踏力 490N (50kgf)] (エンジン ON の状態)		85 以上	←	←
パ ー キ ン グ ブ レ ー キ	レバー引きしろ [ノッチ数] (レバー式, 操作力 196N (20kgf))		5~8	←	—
	ペダル踏みしろ [ノッチ数] (足踏み式, 操作力 196N (30kgf))		5~7	←	←
	ブレーキの 効 き 具 合	制動力	検査時車両重量の 20% 以上		
ブレーキライニングの厚さ [mm]	基準値		2.0	←	←
	限 度		1.0	←	←
ブレーキドラムの内径 [mm]	基準値		176.0	←	←
	限 度		177.0	←	←

(2/2)

項 目		車両型式		E-SX90 E-GX90 KD-LX90	E-JZX90 E-JZX91	E-JZX93
		前 輪	後 輪	基 準 値	限 度	基 準 値
ディスクブレーキ パッドの厚さ [mm]	前 輪	基 準 値		12.0	11.0	←
		限 度		1.0	←	←
	後 輪	基 準 値		12.0	←	←
		限 度		1.0	←	←
ディスクブレーキ ローターの厚さ [mm]	前 輪	基 準 値		22.0	25.0 32.0 (ツアラ- V)	25.0
		限 度		20.0	23.0 30.0 (ツアラ- V)	23.0
	後 輪	基 準 値		10.0	10.0 16.0 (ツアラ- V)	10.0
		限 度		9.0	9.0 15.0 (ツアラ- V)	9.0
ブレーキの効き具合 (注) 前輪のすべての車輪がロックし、計測困難な場合は、その状態で総和に対して適合するものとみなす。		制 動 力	後 輪 和	軸重の10%以上		
			各輪左右差	軸重の8%以下		
			総 和	検査時車両重量の50%以上		
クラッチペダル [mm]	遊 び (ペダル上にて)			5~15	←	←
	切れ残りストローク			25以上	←	←
ホイールベアリング ハブ軸方向の動き量 [mm]	前 輪		0.05以下	←	←	
	後 輪		0.05以下	←	←	
ホイールナットの締め付けトルク [N・m {kgf・cm}]				103 {1050}	←	←
タイヤ残り溝 [mm]				1.6まで	←	←
タイヤ空気圧				別表参照		

4

タイヤ空気圧 (一般, 高速とも同じ)

車 両 型 式	タ イ ヤ サ イ ズ		タ イ ヤ 空 気 圧 [kPa {kgf/cm ² }]	
	前 輪	後 輪	前 輪	後 輪
SX90 GX90	185/70R14 88S		190 {1.9}	
LX90			210 {2.1}	
SX90 GX90 JZX90, 91, 93 LX90	195/65R15 91H		200 {2.0}	
JZX91	205/60R15 91H		200 {2.0}	
JZX90 (ツアラ-S)	205/55R16 89V		230 {2.3}	
JZX90 (ツアラ-V)	205/55R16 89V	225/50R16 92V	230 {2.3}	250 {2.5}

定期点検作業要領

ここに記載されていない項目については、トヨタ定期点検作業要領説明書（品番 69644, 1995年5月発行）に従って作業を行う。

減速時排気ガス減少装置の機能

フューエルカット装置

1G-FE (M/T車), 1JZ-GTE, 2JZ-GE

- (1) エンジンを暖機後、ダッシュポットを作動させないようにし、インジェクターに指を当ててエンジン回転数を3500r/min以上まで上げスロットルレバーを戻したとき、インジェクターの作動による振動が一瞬止まることを確認する。

4S-FE, 1G-FE (A/T車), 1JZ-GE

- (1) エンジンを暖機後、インジェクターに指を当ててエンジン回転数を3500r/min以上まで上げスロットルレバーを戻したとき、インジェクターの作動による振動が一瞬止まることを確認する。

排気ガス再循環装置の機能 (2L-TE)

- (1) エンジン暖機後、アイドル運転状態でEGRバルブのパキュームホースに負圧がかかっていることを確認する。
- (2) エンジン回転数を約1500r/minに上げたとき、EGRのパキュームホースに負圧がかかっていることを確認する。
- (3) 水温60℃以下のアイドル運転状態で、EGRバルブのパキュームホースに負圧がかかっていないことを確認する。

なお、パキュームホースにかかる負圧の確認は、EGRバルブ側のパキュームホースにパキュームゲージを取り付けて行う。パキュームゲージの取り付けはエンジン停止状態で行う。